

1面からのつづき

### 群馬県北毛支部

## チャリティーゴルフコンペの開催及びゴルフコンペの収益金を児童養護施設等への寄付について

発足以来恒例となった「第二十一回群馬県北毛支部チャリティーゴルフコンペ」を去る七月十八日(月)海の日、榛名山麓の「伊香保国際カントリークラブ」で開催しました。

このゴルフコンペは会員相互の融和・親睦を図ることと、県民への善行会活動の周知、並びに日頃、善行会活動を理解され、支援いただいている方々と会員との交流を図ることを目的に、広く参加者を募り開催しているものです。

昨年は二百八十一名の参加でしたが、今年はいくつかの理由で、今年も増加し、三百十二名という多くの方に参加いただき、盛大に開催しました。

コロナ感染防止により、前々回からハーフコンペを取り入れ、表彰式は行いませんでしたが、競技を終了した参加者一人ひとりに支部長から賞品とお礼状を手渡し、感謝を伝えました。

参加者から寄せられたチャリティー収益金の一部を児童養護施設「子持山学園」、被害者支援センター「すてっぷぐんま」へ寄付しました。

本ゴルフコンペは、善行会本部作成の「広報チラシ」を参加者全員に配布するなど善行会並びに善行活動を県民にアピールするとともに理解を深めることが出来、大きな成果をあげることが出来た実りある大会となりました。



支部長から被害者支援センター「すてっぷぐんま」へ寄贈状況



支部長から優勝賞品(ホテル松本楼ペア宿泊券)の受賞状況

### 大分県大分支部

## 令和四年度春季善行表彰伝達並びに定期総会を開催

今年もコロナ感染が心配される中、ここ二週間は減少傾向にあり、六月二十五日やつと式典を開催する事が出来ました。

三年ぶりの開催で役員皆さんの役割分担が心配されましたが、皆さんは手際よくこなされ厳粛な式典となりました。

定刻十四時には全員が着席しました。最初に記念写真を来賓の皆様を中

心に、受賞者の皆さんは賞状を胸にしての撮影です。次に出席された全会員との集合写真を撮り席へ戻りました。式典の始まり前の写真撮影で、受賞者の児童生徒も落ち着いたように見えます。

開会の挨拶は佐藤満洋副支部長、司会進行は立川寿副支部長、式次第に沿って進めます。先ず、受賞者への賞状の伝達です。今年の春季受賞者は、団体一、一般人三名、児童生徒九名、皆さん緊張した面持ちで待っています。紹介者は田中真紀子理事、氏名、学校名、学年、受賞理由等紹介しま

す。そして大きな拍手が続きます。一通り伝達が終わりますと、松井猛支部長の祝辞です。

公務多忙な中、今年も大分市長佐藤樹一郎様の祝辞を頂きました。

また、公務の都合で出席が出来なかった市議会議長と教育長の代理として、市議会副議長と教育委員会より教育監の方がご出席頂きました。皆様から温かいお言葉を頂きました。

次に本部からの祝電を、常任理事の工藤桂子さんに披露して頂きました。

最後に受賞者を代表し、大分市立敷戸小学校児童

会代表秋月小町さんから九州は一つの思いと「善は社会を照らすあかり」を共有できる大切な大会と位置付けており、大分支部全会員は成功に向けて頑張っています。

伝達式終了後、会場整理のため十五分間の休憩を取り、定期総会を開きました。全ての審議も終わり、令和四年度の船出が出来ました。

今年支部創立十五周年を迎えます。記念行事として芸能奉仕団を中心に記念公演の準備に追われています。合わせて九州支部会

と、烏川を挟んだ丘の上に、四十一、八メートルの大観音が夕日を背に市内を見下ろしています。この大観音は百衣観音と呼ばれ、県の郷土カルタ(上毛カルタ)に、「百衣観音慈悲の御手」と読まれていて、高崎の実業家であった井上保三郎氏が、昭和九年の陸軍大演習の際、天皇陛下に拝謁できたのを機に、観光高崎建設と陸軍十五連隊の戦死者の慰霊、社会平和を祈念して建立されました。

ちなみに、百衣観音の模型は工芸家森村西三氏の作で、完成模型を井上工業東京支社へ自転車運んだのが、井上工業へ入社間もない元総理大臣、

田中角栄氏とのことです。百衣観音の一大行事としては、八月第三土曜日に行われる「万灯会(まんどうえ)」があげられます。五百メートルの参道と五百数十段の清水寺の石段の両側に並べられたカップろうそくの灯は幻想的でとても素晴らしいです。さらに百衣観音の膝元の高野山真言宗別格本山慈眼院の境内には大きな灯籠が所狭しと並んでいて、素晴らしい光景です。

この日には、石段下より子どもたちの提灯行列が行われたり、スタンブラリーがあったり、露店で蛍光リングを購入すると、大観音の体内巡りができたりします。またこの日は高崎駅からシャトルバスも出ています。

是非一度、高崎百衣観音の万灯会にお出かけください。

大分大会を開催致します。九州は一つの思いと「善は社会を照らすあかり」を共有できる大切な大会と位置付けており、大分支部全会員は成功に向けて頑張っています。

伝達式終了後、会場整理のため十五分間の休憩を取り、定期総会を開きました。全ての審議も終わり、令和四年度の船出が出来ました。

今年支部創立十五周年を迎えます。記念行事として芸能奉仕団を中心に記念公演の準備に追われています。合わせて九州支部会

と、烏川を挟んだ丘の上に、四十一、八メートルの大観音が夕日を背に市内を見下ろしています。この大観音は百衣観音と呼ばれ、県の郷土カルタ(上毛カルタ)に、「百衣観音慈悲の御手」と読まれていて、高崎の実業家であった井上保三郎氏が、昭和九年の陸軍大演習の際、天皇陛下に拝謁できたのを機に、観光高崎建設と陸軍十五連隊の戦死者の慰霊、社会平和を祈念して建立されました。

ちなみに、百衣観音の模型は工芸家森村西三氏の作で、完成模型を井上工業東京支社へ自転車運んだのが、井上工業へ入社間もない元総理大臣、

田中角栄氏とのことです。百衣観音の一大行事としては、八月第三土曜日に行われる「万灯会(まんどうえ)」があげられます。五百メートルの参道と五百数十段の清水寺の石段の両側に並べられたカップろうそくの灯は幻想的でとても素晴らしいです。さらに百衣観音の膝元の高野山真言宗別格本山慈眼院の境内には大きな灯籠が所狭しと並んでいて、素晴らしい光景です。

この日には、石段下より子どもたちの提灯行列が行われたり、スタンブラリーがあったり、露店で蛍光リングを購入すると、大観音の体内巡りができたりします。またこの日は高崎駅からシャトルバスも出ています。

是非一度、高崎百衣観音の万灯会にお出かけください。

大分大会を開催致します。九州は一つの思いと「善は社会を照らすあかり」を共有できる大切な大会と位置付けており、大分支部全会員は成功に向けて頑張っています。

伝達式終了後、会場整理のため十五分間の休憩を取り、定期総会を開きました。全ての審議も終わり、令和四年度の船出が出来ました。

今年支部創立十五周年を迎えます。記念行事として芸能奉仕団を中心に記念公演の準備に追われています。合わせて九州支部会



と、烏川を挟んだ丘の上に、四十一、八メートルの大観音が夕日を背に市内を見下ろしています。この大観音は百衣観音と呼ばれ、県の郷土カルタ(上毛カルタ)に、「百衣観音慈悲の御手」と読まれていて、高崎の実業家であった井上保三郎氏が、昭和九年の陸軍大演習の際、天皇陛下に拝謁できたのを機に、観光高崎建設と陸軍十五連隊の戦死者の慰霊、社会平和を祈念して建立されました。

ちなみに、百衣観音の模型は工芸家森村西三氏の作で、完成模型を井上工業東京支社へ自転車運んだのが、井上工業へ入社間もない元総理大臣、

田中角栄氏とのことです。百衣観音の一大行事としては、八月第三土曜日に行われる「万灯会(まんどうえ)」があげられます。五百メートルの参道と五百数十段の清水寺の石段の両側に並べられたカップろうそくの灯は幻想的でとても素晴らしいです。さらに百衣観音の膝元の高野山真言宗別格本山慈眼院の境内には大きな灯籠が所狭しと並んでいて、素晴らしい光景です。

この日には、石段下より子どもたちの提灯行列が行われたり、スタンブラリーがあったり、露店で蛍光リングを購入すると、大観音の体内巡りができたりします。またこの日は高崎駅からシャトルバスも出ています。

是非一度、高崎百衣観音の万灯会にお出かけください。

大分大会を開催致します。九州は一つの思いと「善は社会を照らすあかり」を共有できる大切な大会と位置付けており、大分支部全会員は成功に向けて頑張っています。

伝達式終了後、会場整理のため十五分間の休憩を取り、定期総会を開きました。全ての審議も終わり、令和四年度の船出が出来ました。

今年支部創立十五周年を迎えます。記念行事として芸能奉仕団を中心に記念公演の準備に追われています。合わせて九州支部会

### 福岡県福岡支部

## 令和四年度春季善行表彰伝達式の開催

令和四年度春季善行表彰伝達式を六月二十五日(土)午前十一時から、大宰府市役所で開催した。支部長代理で原田久美子市議会議員がお祝いの挨拶、原口信行市長代理・副市長、渡辺美穂県議会

員の祝辞の後、勝野堅介日本善行会会長の祝電が披露された。原口副市長から受賞者一人一人に表彰状・善行章が手渡された。受賞者・出席者には、記念品として、紅白饅頭・大宰府天満宮のお神酒を贈呈した。なお、会場準備には、市の職員数名の方からお手伝いのご協力をいただいた。開催に当たり、ご協力いただいた勝野会長・事務局の皆様



に心から感謝とお礼を申し上げます。

## ふる里自慢

### 群馬県高崎支部

## 百衣観音慈悲の御手

高崎市は北関東に位置する交通の要衝で、上越、北陸新幹線や多くの在来線の他、関越、北関東自動車道等が太平洋側と日本海側とを結んでいます。また、高崎市は縁起達磨の産地として知られ、全国の達磨の約八割を生産しています。市内を利根川の支流である烏川が流れ、市の中心から西の方角を望む

### 訃報



去る七月十一日、日本善行会の永田昌範氏(七十七歳)大阪府吹田支部長がご逝去されました。

永田氏は、平成十年に善行章を受賞し、平成二十八年に善行金章を受賞しました。平成二十一年に大阪府吹田支部が創設され、平成二十三年に二代目支部長として、会員増強と支部運営に尽力しました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

